

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (南関東)	◎	一般小売店〔文房具〕 （経営者）	・売上が前年同月と比較して30%近く伸びており、前月比でも20%程度増加している。客単価も上昇傾向にあり、インバウンド向けについては高単価商材の品ぞろえを増やすとすぐに販売につながる傾向にある（東京都）。
	◎	衣料品専門店（経営者）	・空調服など、夏物が最も単価が高く売やすいため、良くなる。
	◎	その他飲食〔給食・レストラン〕（役員）	・今年度も、前年度の価格転嫁交渉により材料費、人件費の上昇分を消化しながら増益している（東京都）。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	・夏季に向けて、既に大型イベントや学会などで満室日が増加している。状況は更に良化する見込みである。
	◎	タクシー運転手	・これからまた少し暑くなると、客の動きが活発化してくる（東京都）。
	◎	住宅販売会社（従業員）	・今月の販売量の落ち込みが激しかったので、通常に戻れば今月よりは景気は良くなる。住宅ローン金利も据置きとなり、政策面での子育てグリーン住宅支援事業の内容がはっきりと決まってきたので、客の動きが出てくる。
	○	一般小売店〔家電〕（経理担当）	・毎年ゴールデンウィークは売上が減る。今夏も猛暑予報のため、エアコンの売上次第である。
	○	一般小売店〔家具〕（経営者）	・この先もやはり状況は変わらず、景気は良くならない（東京都）。
	○	一般小売店〔祭用品〕 （経営者）	・例年必須の総会等の事業があるため、5月は若干ながら良くなる。
	○	一般小売店〔傘〕（店長）	・夏に向けて、暑さ対策の日傘や晴雨兼用傘の需要の伸びが見込まれる。
	○	一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	・4月は外商での企業や官庁関係の仕事が余りなかったが、5月以降は入っているため、やや良くなる。ただし、予測のため、今後の物価上昇によって財布のひもが固くなったり、予算の絞り込みがあると、相当いろいろなことを工夫をしていかなければならない。工夫の成果が徐々に出てきて、やや上向きになるとみている。
	○	百貨店（販売促進担当）	・物価高の影響は残るものの、買い控えていた反動や慣れも生じ、消費が復調傾向になると期待している（東京都）。
	○	百貨店（販売促進担当）	・年度始めの4月は値上げの影響で節約傾向が強く出がちな月だが、前年よりは節約傾向が弱く、値上げに慣れて、客単価も上昇傾向にある。3か月後の夏物商戦においても緩やかな回復基調を見込んでいる（東京都）。
	○	コンビニ（経営者）	・これから夏に向けてソフトドリンクなどの飲料やアイスの販売が上向きになる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・デ일리ー品の販売額は伸びているが、原材料の値上げにより当社取扱も値上げしており、その影響がある。来客数は微増しているため、やや良くなる。
	○	コンビニ（商品開発担当）	・米国の関税政策の影響による円相場の動きが懸念事項だが、大阪・関西万博も始まり、国全体の経済活動が活発になりつつあるため、今後に期待したい（東京都）。
	○	衣料品専門店（店長）	・ドレス事業においては、異業種とのコラボ商材の開発が進んでいる。着物事業においては、産地とのタイアップ商材と企画が連動し、集客しやすい環境を整えている（東京都）。
	○	乗用車販売店（従業員）	・今後は新型車が発表になり来場者数が増えるため、販売量の増加が見込まれる（東京都）。
	○	住関連専門店（営業担当）	・国の住宅省エネキャンペーンは今年度が最終年とされており、駆け込み需要が期待されるため、引き続き堅調に推移していくものとみている（東京都）。
	○	一般レストラン（経営者）	・価格は高止まりしているが、商材とサービスの質を下げなければ、客は来てくれる（東京都）。
	○	旅行代理店（従業員）	・大阪・関西万博の影響がどれほどか計りしれないが、大阪のホテルが取りにくく、旅行先を変更するケースもみられ、全体的には底上げとなる（東京都）。
	○	タクシー運転手	・ここにきてロングの客もあり、会社からのオーダーと病院送迎での利用が増えている。飲み屋からの利用が少ないことが気になるが、終電後にロングの客がいるのが不思議である。

☐	タクシー運転手	・最近夏場に向かって暑さが非常に厳しくなる。2～3か月先は恐らく暑さが厳しく、例年どおり乗客が増える（東京都）。
☐	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなり、外出機会も増えつつある。必然的にお金を使うことが増える（東京都）。
☐	通信会社（社員）	・音楽祭などのイベントが続き、期待できる状況が続いている。夏に向けて明るさがある（東京都）。
☐	通信会社（経営企画担当）	・連休明けから案件の増加が期待できる（東京都）。
☐	観光名所（職員）	・やや回復傾向にある（東京都）。
☐	ゴルフ場（従業員）	・更に客が増える。
☐	設計事務所（経営者）	・打合せのとおりにきちんと案件になっていけば良くなる。
☐	住宅販売会社（経営者）	・国内ホテルの宿泊料金が月に約2%ずつ上昇しつつあり、ホテル業界は良くなるとみている。一方、建設業は、建設費の高騰により我々中小企業はまだ厳しい環境のなかにあり、なかなか賃金を上げることができない。
☐	商店街（代表者）	・客の所得から考えると、給料が多少上がっても、それ以上に物価が上がっていることがかなり影響している。景気が上向きになるのは大変難しい。
☐	商店街（代表者）	・米国政権の経済政策が適切であれば良くなる方向にいくが、市場、為替、金利が不安定化すると、さすがに影響が出てくる。不確定要素が強い（東京都）。
☐	一般小売店〔家電〕（経理担当）	・暑い夏になりそうなのでエアコンはそこそこ売れるだろうが、その他の物は現状並みではないか。省エネ給湯機などへの補助金も始まったので期待しているが、高額商材なのでどうなるか分からない。
☐	一般小売店〔印章〕（経営者）	・パソコンの普及により印章、ゴム印等を製作する動きや数量はますます減っており、思うようには売上に結び付いていかない。業界全体的に非常に厳しい。
☐	一般小売店〔米穀〕（経営者）	・金利、株価、雰囲気、それぞれが安定し、政策が堅実に目標を目指せば、明るい兆しがみえてくる（東京都）。
☐	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・米国の関税政策の影響で株価が下落している。輸出企業の間接決算は軒並み減収となり、余り期待は持てない。
☐	一般小売店〔生花〕（店員）	・4月は入園式、入学式や送別会などで花の需要が多かったが、例年と比べてどうかという気がしている。3か月先の7月は、東京ではお盆のため花の需要はあるが、4月と比べるとほとんど変わらない（東京都）。
☐	一般小売店〔茶〕（営業担当）	・何が何でも売上を上げないことには始まらない（東京都）。
☐	一般小売店〔書店〕（総務担当）	・現在は繁忙期で、売上が前年と比べてどうかというと、良い情報と悪い情報の両方があり、現時点で判断が付かないため、変わらないとしている（東京都）。
☐	百貨店（売場主任）	・このまま物価上昇が継続していくなかで賃上げの影響がプラスに出るとの確約はなく、消費マインドが改善していく大きなイベントもない。引き続きインバウンドは伸長するとみており、そこでカバーする比率が上がる（東京都）。
☐	百貨店（総務担当）	・物価高により、消費に対する慎重姿勢は続くと思っている。
☐	百貨店（総務担当）	・実態として物価上昇が続くと、消費マインドの低下傾向も続く恐れがある。世界情勢等、先行きはますます不透明であり、明るさがみえてこない（東京都）。
☐	百貨店（広報担当）	・米国の関税政策による株価の乱高下など、足元の不安定な経済環境が劇的に変わるような実感や確かな材料がないため、向こう数か月は現状から改善する要素が見当たらない。逆に、大きく悪化する要素も見当たらない（東京都）。
☐	百貨店（営業担当）	・世界経済の影響による今後の株価や為替の不透明感から、先を見通すことが難しい（東京都）。
☐	百貨店（営業担当）	・衣料品や雑貨などのセール品や食品の値引き品などを求める需要が多い。物価高の影響か、購入には慎重な姿勢がみられる（東京都）。
☐	百貨店（企画宣伝担当）	・インバウンドの減少や物価高による国内消費の低迷に明るい兆しがみられない。

☐	スーパー（経営者）	・ 2～3 か月前の状況と余り変わっていないため、先行きもやや悪い状態が変わらず続く。その理由として、単価は上がってきているものの、野菜、果物の相場が大分下がってきており、単価を少々押し下げている分、売上がやや悪くなっていることがある。また、2月、3月と比べて4月は天候が悪いために少し落ち込んでいる。この状況はこの先も変わらず続くとみられるため、やや悪い状態のまま変わらない。
☐	スーパー（経営者）	・ 物価はまだ上がる。
☐	スーパー（店長）	・ 食料品類の値上げサイクルが以前より短くなっているため、1品単価の上昇スピードと、値上げの反動による買上点数の減少スピードに拍車が掛かる。
☐	スーパー（店長）	・ 消費者には節約志向が依然として根付いており、値上げの影響も大きく、日々必要最低限の買物しかない。物価上昇と所得のバランスが取れるようになるまでは、同様の状態がしばらく続く（東京都）。
☐	スーパー（営業担当）	・ 単価の上昇、販売量、来客数の減少がまだ続く（東京都）。
☐	スーパー（販売担当）	・ 値上げが続き、割高感がある。
☐	コンビニ（経営者）	・ 来客数がもう少し伸びてほしい。
☐	コンビニ（経営者）	・ 物価高は続くようなので、景気が良くなりそうな気配はない。気温上昇時の購買意欲に期待したい（東京都）。
☐	コンビニ（エリア担当）	・ 継続的な物価上昇や経済的な不透明感が続くなかではあるが、コンビニについては買い控えが起こっているようにはみえず、日常的な消費が続く（東京都）。
☐	コンビニ（エリア担当）	・ 春闘は政府の読みどおり5%前後で推移しているようだが、消費者の需要が追いついていない。
☐	コンビニ（エリア担当）	・ 物価が上昇しているなかでも来客数が増え、売上は増加しているが、人件費も高騰しているため、営業利益ベースでは大きく向上することはない（東京都）。
☐	コンビニ（従業員）	・ これだけ物価が上昇しているので、価格を気にするのであればスーパーやドラッグストアで購入しようとするため、コンビニで買物をする客は増えていかない。政府の景気対策や減税施策など、国民の生活が少しでも楽になるような政策があれば、コンビニで購入する客も少しずつ増えていく。
☐	衣料品専門店（統括）	・ 生活必需品以外のし好品等に対する買い控えが続き、来客数減少が今後も予想される。
☐	衣料品専門店（役員）	・ 諸物価高騰の悪影響はまだ続きそうである。
☐	家電量販店（店長）	・ 賃上げが全体で進んでいても、それを上回る物価上昇や手取りの増えにくい要因があり、消費するというよりは仕方なく消費しているとみられる。消費活動が上向いても、生活防衛で食品を中心とした消費しかできない人も一定数いるため、良くなることを想像できない。米国の関税問題も不安要素になり、更に物価が上昇するのかわからず、本当に必要な物にしか消費が向かない傾向になる。
☐	家電量販店（店長）	・ 消耗品までもが価格上昇しているため、まだ厳しい状況が続く。高単価商材も売れてはいるものの、慎重な客が多い。
☐	家電量販店（店長）	・ 訪日外国人旅行客の来店は伸びると予測しているものの、為替の影響で購入単価の伸びが不透明である（東京都）。
☐	乗用車販売店（経営者）	・ 自動車の整備は順調に入っているが、販売は余り芳しくない。客の来場はあるが、なかなか契約に結び付いていない。
☐	乗用車販売店（経営者）	・ 新車の納期が長くなっているが、前年並みの売上になると予想している。
☐	乗用車販売店（経営者）	・ 為替や株価が安定すれば購買意欲も増すのだろうが、不安定なため設備投資を控え、現状のままで変わらない（東京都）。
☐	乗用車販売店（営業担当）	・ 現状のペースのままであれば大きく増減することはない。
☐	乗用車販売店（販売担当）	・ 一時的に円高になったものの、やはり円安が続いている。原油や食料品の高騰に比べて、賃上げが思ったほど進んでいない。物価が上がっているものの収入は大きく上がらないため、今後数か月間は現状の悪いままで変わらない（東京都）。
☐	乗用車販売店（渉外担当）	・ 販売はやや高い水準を維持する。

☐	乗用車販売店（営業担当）	・物価と金利の上昇で新車販売は鈍化しているが、その代わりに中古車販売が好調である（東京都）。
☐	その他専門店〔貴金属〕（統括）	・米国の動向により景気全体が悪くなる可能性もあるが、4月も売上は良い状態を維持しているため、よほどのことがない限り変わらない（東京都）。
☐	その他専門店〔雑貨〕（営業担当）	・依然として外国人観光客が来店客の9割を占めており、購買単価も高い。この傾向は夏以降もしばらく続く（東京都）。
☐	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・現在政府で検討されている景気刺激策次第で、消費マインドの改善が期待できる（東京都）。
☐	その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・インバウンドも何も関係ない。日常の暮らしを守るだけである（東京都）。
☐	高級レストラン（営業担当）	・全体的な傾向として、法人を中心に、例年開催の宴席の規模縮小が目立つ。原材料費高騰等の影響も加味し、6月に更なる価格改定を予定している。現状同様、来客数の減少を客単価でカバーする傾向が当面継続する（東京都）。
☐	高級レストラン（経理担当）	・米国政権の政策は、サプライズ効果を狙っているのか、実態を動かすべくアナウンスしているのか、計りしれない。このような先行き不透明な状況では、人は変化を求めず現状から動かない（東京都）。
☐	一般レストラン（経営者）	・3か月先は真夏になるので、売上はさほど良くない。ただし、ケータリングは新型コロナウイルス感染症が収束してから順調に伸びているため、4月の売上とほぼ変わらないとみている。ケータリングのない7月は20%程度は落ち込むが、ケータリングを含めれば、今月と同じくらいになる。
☐	一般レストラン（経営者）	・会社や大きな部署単位での飲み会が減っている。夜の客が入らないことにはなかなか売上も上がらず、厳しい。
☐	一般レストラン（経営者）	・今後は宴会の件数はやや落ち着くが、行楽にちょうど良い気候となり、土日の集客は変わらずに増えていくと考えている（東京都）。
☐	その他飲食〔カフェ〕（経営者）	・喫煙需要というものがあるようで、ほとんどの店舗は禁煙をうたっているため、喫煙スペースのある店はいつも満席である（東京都）。
☐	都市型ホテル（経営者）	・現状が継続すればよいが、米国の関税の問題、米価を始めとする諸物価の上昇、水道光熱費の状況等、先の見えない点が多々あり、先行きは不透明である。参議院議員選挙もあるが、庶民目線に立った政策を至急実行してほしい。
☐	都市型ホテル（スタッフ）	・米国の関税政策等が国内景気にも大きく影響を与える。
☐	旅行代理店（経営者）	・あちこちの旅館も値上げ続きで大変である。客足も徐々に鈍ってきて、行き先の変更や旅行ではなく国内でおいしい物を食べることなどに変わっている。
☐	旅行代理店（営業担当）	・良くなる対策等が実施されていない（東京都）。
☐	旅行代理店（営業担当）	・この先も物価上昇が続くとみている（東京都）。
☐	タクシー（団体役員）	・特別なアクシデント等でもない限り、乗客がいない。
☐	通信会社（経営者）	・今月は受注が増加したが、これまでの状況からみて2～3か月先の景気が良くなるとは考えられない（東京都）。
☐	通信会社（社員）	・夏に向けて明るい兆しもなく、消費意欲の高まるイベントもない。関税問題や株価の乱高下は消費者の不安をあおり、貯蓄マインドを後押ししている（東京都）。
☐	通信会社（局長）	・現状の政治、経済状況では起爆剤的な要素が少ないこともあり、業種的に変化が乏しい（東京都）。
☐	通信会社（営業担当）	・良くなる材料がない。
☐	通信会社（営業担当）	・まだ、世の中的に値上がり止まらないため、落ち着かない限り変わらない（東京都）。
☐	通信会社（経理担当）	・物価と賃金が並行して上がっているため、手持ち資金は増えていない人が多い。
☐	通信会社（管理担当）	・光ファイバー化の更新が終わり、営業実績に成果がみられるまで少し時間が掛かるため、現時点では変わらない見込みである（東京都）。
☐	通信会社（管理担当）	・5月も新たに値上がりする品目があるため、購買意欲の減退が続く（東京都）。

□	通信会社（営業担当）	・状況が全く読めないが、ゴールデンウィークの客足、景気回復を期待している（東京都）。
□	通信会社（営業担当）	・外的要因で大きく改善することは考えられず、自社の努力で改善を進めていく傾向が強い（東京都）。
□	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（支配人）	・まだ分からないが、ゴールデンウィーク明けが少々心配である。7月頃に30名から40名での企業予約は入っている（東京都）。
□	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（従業員）	・大きく変化する要素が見当たらない（東京都）。
□	その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・問合せ件数などが良い状況から、落ち着いてきた印象を受ける。
□	その他サービス〔フィットネスクラブ〕（エリア統括）	・米国の関税引上げ対策を始め、米を含めた物価上昇など、個人消費が伸びる要素が少ない。来館状況を見ても上向き感はない（東京都）。
□	設計事務所（経営者）	・新年度に入ったが、特に景況感が変化する要素は見受けられない。貿易関税や株価の乱高下など不安要素はあるものの、業務的には現状維持が続くとみている。
□	設計事務所（職員）	・これ以上悪くならないでほしいと願っている（東京都）。
□	住宅販売会社（従業員）	・米国の関税政策次第で変わってくる。今後も賃金上昇、価格転嫁が進めば上向きになる可能性はある。
□	住宅販売会社（総務担当）	・物価高に対して、客への価格転嫁が進んでいない。
▲	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・物価上昇について改善の兆しがみえない。
▲	一般小売店〔乳業〕（経営者）	・8月から価格改定を予定しているため、そこで大きく変わる（東京都）。
▲	百貨店（総務担当）	・米国の経済政策の急激な転換により、徐々に円高に振れ、インバウンドも落ち着きを見せるのではないかと予想している。国内では、相次ぐ値上げにより消費行動が抑えられている様子が見え始める。賃金は上昇するものの、物価上昇が大きく、生活防衛意識は当面続く（東京都）。
▲	百貨店（総務担当）	・米国の関税政策の影響による為替相場や経済の悪化が懸念され、消費マインドの低下が想定される（東京都）。
▲	百貨店（営業担当）	・外国人の来客数がやや減少している。米国の関税政策の影響が続く、円高傾向が進めば、収益への影響が出てくることも想定される（東京都）。
▲	百貨店（営業担当）	・物価上昇等の不透明感はまずボリュウムゾーンの紳士服から始まっており、今後はカテゴリーの拡大が予測される。インバウンドも高額品売上の鈍化が進む（東京都）。
▲	百貨店（販売促進担当）	・米価の高騰や品不足、物価の上昇に米国の関税問題が加わったことで、消費に対して不安を感じる要素が多くなり、景気が良くなるとは考えられない。
▲	百貨店（販売促進担当）	・直近の傾向から、やや悪くなる（東京都）。
▲	百貨店（財務担当）	・持続的な賃上げもあるものの、米国の関税政策等の影響の広がりによる個人消費の減速が景気にマイナスインパクトを与える（東京都）。
▲	百貨店（管理担当）	・様々な物の値上がりや不安定な株価の動きなど、消費意欲の減退につながる要素が大きい（東京都）。
▲	百貨店（店長）	・食品の価格高騰に対応できるとは考えにくい。備蓄米を放出しても米の問題は改善できていない。従業員の賃上げを実行できるのは大手企業のみで、実際に賃上げをして耐えられるのも一部の企業だけである。
▲	スーパー（経営者）	・可処分所得が減り続けているため、今のままでは良くならない。せめて消費税の廃止あるいは減税を行わないと、ますます悪くなる。
▲	スーパー（総務担当）	・今後は米国の関税政策の影響が出てきそうである。
▲	スーパー（仕入担当）	・米国の関税政策の影響で輸出産業が後退する。輸入品も円安が続いており、商材の値上げで消費マインドが減退する。
▲	スーパー（ネット宅配担当）	・様々な物の価格高騰や米国の関税問題による先行きの不透明感などから、節約意識がますます高まる。
▲	スーパー（食品担当）	・薄利多売で体力勝負となっており、先行きは不透明である（東京都）。

▲	コンビニ（経営者）	・値上がりが更に進むと、来客数の減少、従業員の賃上げが重なり最悪である。
▲	コンビニ（経営者）	・やはり来客数を維持していかないと、最終的に売上は保つことができない。4月から3000品目程度の食料品の単価が上がっている。これが落ち着いていくか、客の所得が増えていかなければ売上にもつながっていかないため、将来を危惧している。
▲	コンビニ（経営者）	・実質賃金が物価高に追い付いていないとの声が客から多く聞かれ、買い控え又は安価な商材に流れる傾向がある。そのため、今後は景気がやや悪くなる。
▲	コンビニ（エリア担当）	・4月前半の春休み明けまでは非常に好調であったが、4月末、ゴールデンウィークに入る前では、想定していたほどの来客数が見込めていない。今後は人の流れが集中してしまうことから、そこまで期待できない。
▲	コンビニ（店長）	・株価の動きが悪い（東京都）。
▲	衣料品専門店（経営者）	・物価がまだ上がり、円安も続いている。これから学校関係の販売等もあるが、少子化であることと、最近は通販で購入する客もいるため、売上はやや減少するとみている。
▲	衣料品専門店（従業員）	・この先も不安定な世界経済の影響や物価高で消費が冷え込むとが予想されるため、衣料品にも影響が出てくる。
▲	乗用車販売店（経営者）	・この先も物価上昇が続く。
▲	乗用車販売店（営業）	・売れ筋車種の販売中止が目立っている。
▲	その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・必需品の価格が上がり続けているため、財布のひもがますます固くなる。
▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（団体役員）	・原油価格や為替相場が不安定であり、燃料油価格激変緩和補助金の周知も曖昧で、石油販売業界は混乱している。小回りの利いた価格対応ができないことにより石油販売業界は戸惑っている。客の買い控え等により景気は鈍化する（東京都）。
▲	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・米国の政権のいろいろな方針変更による影響が及ぶ可能性がある。
▲	高級レストラン（役員）	・米国の関税措置、株価の行方の不安定さは続くと思われる、インバウンドも含む来客数、売上の状況は良いものの、利益的には厳しい状況が続く（東京都）。
▲	高級レストラン（仕入担当）	・製造業とは異なり、関税問題で直ちに障壁になることはないが、ますます顕在化してくれば、影響を受けて景気が悪くなることは避けられない（東京都）。
▲	一般レストラン（経営者）	・3か月後も物価上昇が続く。ガソリンや米も含めて全てが値上がりしているため、外食に回る費用は少なくなる。そのため、今よりも確実に売上が落ち、景気は悪くなる。
▲	一般レストラン（経営者）	・米国の輸入関税引上げ問題について、最初の波紋は収まりつつあるが、今後また何が起こるかによって情勢も変わる。為替については、大方が振れ幅が大きいことには慣れてきたように見えるが、銀行の金利が上がってきているため、影響が出てくる。
▲	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・米国の関税の影響で企業業績に悪影響が出て、しばらくは財布のひもが固くなることが見込まれる（東京都）。
▲	その他飲食〔カフェ〕（経営者）	・何もかもが高くなり、物の動きが鈍化してくる。外食産業も厳しい状況が続く。コーヒー豆の価格高騰も大きく、価格転嫁したいが、上げれば更に厳しい状況になるという不安から大きな値上げには踏み切れない。コーヒー業界では、先物取引だけを見ても1年で2倍、5年で4倍になっていることから、3月頃から倒産や廃業がとて増えており、かなり不安である（東京都）。
▲	旅行代理店（従業員）	・新年度になり、旅行の各種料金がそれぞれ上昇している。例年の予算での実施が困難になっている。
▲	タクシー運転手	・前年夏頃からの物価の上昇が収まらないことから、タクシー利用客はかなり減っている。これ以上値上がりが続くと死活問題になりかねない。
▲	通信会社（経営者）	・人件費の高騰により売上が追い付かず、厳しい。
▲	通信会社（営業担当）	・値上がりする商材が増加しており、購買意欲は低水準のまま推移していく。

	▲	観光名所（職員）	・米国の関税政策の影響が全く読めず、不安要素となる。また、これに関連して株や為替の動きも予想できない（東京都）。
	▲	ゴルフ場（経営者）	・猛暑予報が出ている。
	▲	ゴルフ場（経営者）	・例年、夏に向けて来場者数は減少傾向にある。前年並みの酷暑となると、今年もその影響は大きいだろうと危惧している。
	▲	パチンコ店（経営者）	・対外的には米国の関税、国内的には減税施策の先送り、物価高と、消費者の消費行動に慎重度が増してくる。
	▲	競輪場（職員）	・経済の先行きも見えず、不安をあおるようなニュースばかりである。大阪・関西万博が始まりインバウンドだけがクローズアップされるが、関東圏にいると景気の良い声は聞かれない。
	▲	その他レジャー施設〔複合文化施設〕（財務担当）	・米国の関税政策の影響がある（東京都）。
	▲	その他レジャー施設〔映画〕（営業担当）	・物価上昇と株価の大幅下落が購買意欲の低下につながっている（東京都）。
	▲	その他レジャー施設〔総合〕（経営企画担当）	・米国政権の動向による情勢不安や株価下落は消費者の心理を冷え込ませ、個人消費の抑制につながる可能性がある。また、円高傾向の継続により、インバウンドの減速も懸念される（東京都）。
	▲	その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・物価が引き続き上昇しているため、教育費を抑える傾向は変わらない。従業員の給料を少し上げたので、経営はますます苦しくなり、景気も悪くなる。
	▲	その他サービス〔立体駐車場〕（経営者）	・6月までに契約客の中で定年退職を迎える客が数名いるため、やや悪くなる。
	▲	その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	・この先も仕入価格の上昇は止まらず、身の回りの物価上昇も止まらない。客も諦めているように見受けられる。
	▲	設計事務所（経営者）	・現在の周りの状況を見ると、活気がなくなっている。この先経済がどう動いていくのか分からない。マンション価格が相当高騰しており、作る、作らないの見極めが非常に難しくなっている。そういう意味で、ここ2～3か月は前向きな兆しは見えないのではないかな。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・情報数が減っている。
	×	百貨店（営業担当）	・株価、為替変動の影響により、これまで伸長してきたインバウンド並びに国内富裕層の消費減退感が強く、当面この情勢は継続する（東京都）。
	×	衣料品専門店（店長）	・生活必需品の急激な値上げが続き、購買意欲が低下し、回復の兆しがみえない。
	×	通信会社（管理担当）	・物価の上昇により、販売量は横ばいである。
	×	ゴルフ場（経営者）	・コストアップばかりでスタグフレーションが始まっているとしか考えられない。客から政策への愚痴を聞くことも増えてきている。
	×	ゴルフ場（従業員）	・最低賃金及び初任給の引上げに政治が力を注ぐなかで、既に働いている者とのバランスが崩れてしまうこと、企業の存続への影響等、問題が一層大きくなっている。その状況下で、米国の関税政策により経済が一層混乱することが懸念される。
	×	ゴルフ場（経理担当）	・食品、エネルギー価格の高止まりで固定費の回収に苦慮する環境は変わらず、利益を創出できるような状況ではない。今後も物価上昇圧力の継続が自明ななか、激変緩和補助金事業が縮小し、ガソリン税暫定税率の廃止時期は明言に至っていない。限られた財源のなかで補正予算は見送られ、補助金も長続きせず、景気浮揚効果は極めて限定的と言わざるを得ない。国民生活を優先し、消費税やガソリン税の減税を進めてほしい。
	×	その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・建築業界では新築着工数の減少がはっきりしているなかで、リフォーム需要などに活路を見いだそうとしているが現実には厳しく、先行きは見通せていない（東京都）。
企業動向関連	◎	その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	・7月昇給も前年より上がる予定である。全体的に景気が回復傾向にある。
	○	広告代理店（営業担当）	・グループ企業の不祥事による影響が少し収まる（東京都）。

（南関東）

東京都	○	その他非製造業〔商社〕 （従業員）	・受注実績からみて、やや良くなる（東京都）。
	□	出版・印刷・同関連産業 （経営者）	・今後の受注予定を考えると、8月まではずっと景気が悪い（東京都）。
	□	化学工業（従業員）	・受注数は多少増加しているものの、数量は減少しており、良くなっていくとは考えられない。
	□	プラスチック製品製造業 （経営者）	・変わらないと回答したが、新年度に入り米国の関税政策等の影響が今後出てくる可能性があるのでは、悪くなるかもしれない。
	□	プラスチック製品製造業 （経営者）	・医療品容器は新企画が立ち上がる予定で期待感はあるが、化粧品容器については見通しが立たない。
	□	電気機械器具製造業（企画担当）	・米国の関税政策による世界的な景気低迷の影響と、A I 関連事業拡大とで、トータルすると大きな変化はないと予測している。
	□	精密機械器具製造業（経営者）	・米国の関税問題での駆け込み需要なのか、情報は無いものの回復基調ではあるが、先が全く読めない。
	□	その他製造業〔化粧品〕 （営業担当）	・サロンの開業が減っているように見受けられる（東京都）。
	□	建設業（経営者）	・参議院議員選挙が終わるまでは現状の景気停滞が続く。選挙後に与野党の勝敗が決まれば、良くも悪くもまた景気が動く。
	□	建設業（従業員）	・物価の上昇が続いているため大変厳しい。取引先も単価を引き上げてきている。受注はあるものの、もうけがさほどない。
	□	建設業（営業担当）	・新年度が始まったが、公共工事の発注件数及び入札結果をみると、例年より業者数が多く競争が厳しい。民間工事の量が少ないことが原因の1つと考えると、先行きはしばらく良い方向にはいかない。
	□	輸送業（経営者）	・収入の伸び悩み、資材を始めとする経費の高止まりが改善する様子がみえない（東京都）。
	□	輸送業（総務担当）	・閑散期のため荷主の国内出荷量が少ない。輸出もない状態が続く、低迷している。今後もこの状況は続く予想である。
	□	通信業（広報担当）	・先行きの不透明感から、現状の傾向がしばらく続く見込みである（東京都）。
	□	金融業（従業員）	・米国の関税政策による生活への影響に関心が集まるなか、中小企業の経営者からは、業績に悪影響を及ぼすのではないかと不安視する声がかかる。先行きの不透明感から、政府に対して関税に係る特別融資枠の設定を希望する声が出ている（東京都）。
	□	金融業（営業担当）	・米国の政策の影響が大きく、今後の先行きを不安視する声が多い。製造業の受注見通しも不透明感が強く、この先も横ばい程度で推移するという見解が多い。
	□	不動産業（経営者）	・インターネット経由で多くの問合せが来ているが、なかなか実際の物件案内までには至らない。インターネットでの営業は難しい（東京都）。
	□	広告代理店（従業員）	・良い話がないわけではないが、前年実績を全て取り込める確証もなく、不安定である（東京都）。
	□	税理士	・米国の関税政策は、大企業ではそれほど大きな問題にはならないかもしれないが、中小企業は大きく影響を受けるため、先行きがどのような展開になっていくかは読めない（東京都）。
	□	社会保険労務士	・良くなる要因が見当たらない（東京都）。
	□	その他サービス業〔廃棄物処理〕 （経営者）	・米国の関税政策の影響か、工場等の稼働が抑えられている。5～6月には原材料、資材の新たな値上げも実施されるため、先行きは不透明である。
	□	その他サービス業〔警備〕 （経営者）	・売上はしばらく横ばいと見込んでいる。
	□	その他サービス業〔ビルメンテナンス〕 （経営者）	・既存物件の値上げが保留になっている（東京都）。
	▲	食料品製造業（経営者）	・今年もまた猛暑になりそうなので、当業種は厳しい。
	▲	食料品製造業（経営者）	・米国の関税政策や政治の動きの悪さ、各社の値上げ等による景気の不透明感と株安などが消費者のマインドを冷やす可能性がある（東京都）。

	▲	出版・印刷・同関連産業（所長）	・ 人手の掛かる案件の価格上昇や人手不足で対応ができない案件が出てくるなど、今までできていたことができなくなっており、非常に頭を悩ませている。
	▲	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・ 個人の銀行印、認印などは、訪日外国人などからの受注は変わらないため横ばいだが、法人側からのゴム印の注文は減少傾向になる。来月から大きなゴム印メーカーで1割くらい価格が上がるため、どうしても小売価格も値上げになる。そのため、今までの経験から、通常であれば同じ物を3個注文するところが、2個若しくは1個と、受注個数が減少することが見込まれ、ゴム印の売上が特に減少すると危惧している（東京都）。
	▲	化学工業（総務担当）	・ 米国の関税政策の悪影響が出てくる。
	▲	金属製品製造業（経営者）	・ 新年度の予定が出てきたが、例年並みのボリュームである。もろもろの値上がりが見止まらない現状では、例年のボリュームでは利益率が低くなり、結果としてやや悪くなる。ただし、前年、前々年と予定外の案件があったため、多少期待はしている。
	▲	一般機械器具製造業（経営者）	・ 米国の関税政策や自動車メーカー統合等の影響は、実際には実施されていないものもあるため、現在まだ本格化しているとは考えられない。今後はそれらの影響により取引量は更に押し下げられるものとみている。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・ 米国の政策が場当たり的で株価が下落しており、今後も多くの中小企業が影響を受ける。また、中国も不動産を始めとして不景気であり、現在の経済政策が続く限り、良くならない（東京都）。
	▲	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・ 日米間の関税交渉がどうなるか分からない状況で、自動車メーカーへの影響は予測できない。下請企業も同様で、しばらく景気動向は悪くなる。
	▲	建設業（経営者）	・ 材料価格の高騰や受注量の減少も含め、仕事の話がなくなっている。
	▲	輸送業（経営者）	・ 米国の問題は根深い（東京都）。
	▲	通信業（経営者）	・ 米国大統領の発言による影響がある。
	▲	金融業（総務担当）	・ 賃上げしても税金が高く、手元に残る金額は少ない。物価高に追い付いていないため、消費は以前よりも落ちている。電気、ガス料金、ガソリン、食料品の値上げもまだ続くことが予想され、景気が良くなる材料がない。各業種で先行きの見通しが良いという取引先はない（東京都）。
	▲	金融業（支店長）	・ 大手企業と中小企業の賃金格差は拡大を続けており、中小企業の雇用確保が更に難しくなる。
	▲	不動産業（経営者）	・ 賃貸物件の入居率に変化はないと予想するが、諸物価の上昇により管理費が増大し、収益に影響を及ぼす。
	▲	広告代理店（経営者）	・ 梅雨の時期は例年落ち込む（東京都）。
	▲	税理士	・ ロシアによるウクライナ侵攻は、米国大統領の発言もあり、停戦が見込めない。ウクライナの敗戦ムードが強くなると世界経済への影響も大きくなる。米国大統領の今後の政策次第だが、大きく景気が回復する材料は見当たらず、やや下降すると予想している。
	▲	経営コンサルタント	・ 米国の関税政策などの影響により、経済への不安感がある。
	▲	経営コンサルタント	・ 米の値上がりが良い例だが、政府の物価高対策が後手に回り、諸物価の上がるままになっている。米国の関税政策も早々に反応が出てきそうで、大きな心配の種である。高度成長期のように公共工事を大規模に実施して、老朽化した橋、下水道その他の構築物を大車輪で手直しをすることで、経済の活性化を図ってほしい（東京都）。
	×	金属製品製造業（経営者）	・ 米国の関税政策の影響に鑑みて、国内輸出産業にとってプラスになるとは考えにくい。
雇用 関連 (南関東)	◎	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ 少ない仕事をいかに獲得していくか。踏ん張るしかない。
	○	人材派遣会社（社員）	・ 大型案件は広くエントリーできる幅があり、個別案件よりもマッチングの可能性が高い（東京都）。
	○	人材派遣会社（社員）	・ 求人数は穏やかに拡大する（東京都）。
	○	人材派遣会社（支店長）	・ 米国の政権による国内経済への影響に懸念はありつつも、企業の人手不足感の方が強いので、人材派遣ニーズは堅調に推移する（東京都）。

○	求人情報誌制作会社（営業）	・ゴールデンウィーク明けは連休の反動もあって、1年のなかでも特に多いくらいに求人数が増える。6月はボーナスが支給されることが一般的なので、そこに向けても求人数が少しずつ増えていく。
○	求人情報誌製作会社（所長）	・物価上昇による周辺の価格上昇が鈍化している。設定された価格が市場相場へと安定してくる。
□	人材派遣会社（経営者）	・シニア層の求職者がますます増加している。特に中小企業における人手不足を解消するためには、更なる高齢者の積極的な採用が鍵となる。
□	人材派遣会社（社員）	・米国の関税問題の影響から先行きに不透明感があり、積極的な採用を控える企業が増える傾向にある。
□	人材派遣会社（社員）	・先々で大きなイベントはなく、求人数についてもそれほど変化はないと見込んでいる。
□	人材派遣会社（社員）	・大幅に良くなるとは考えられず、緩やかな横ばいが続く（東京都）。
□	人材派遣会社（営業担当）	・例年、夏に向けて若干落ち着いてくる傾向があり、今年も同様とみている。求人数、成約数共に大きく落ち込むことはなく、また、大きく伸びることもない（東京都）。
□	人材派遣会社（支店長）	・国内経済にもうかっていく仕組みが見えにくい。
□	求人情報誌製作会社（広報担当）	・マイナスの要素もプラスの要素も余り見受けられない。大不況になったりしない限りは現状のままだとみている（東京都）。
□	職業安定所（職員）	・新規求人数は低調な状況が続いており、回復の動きも弱い。
□	民間職業紹介機関（経営者）	・現在でも求人企業からの求人数、職種も含めて大変良いが、なかなか決まらない。この状況はしばらく続く（東京都）。
□	学校〔大学〕（就職担当）	・良くなる見込みがない（東京都）。
▲	人材派遣会社（社員）	・物価の上昇が続いているが、賃金は上がらない（東京都）。
▲	人材派遣会社（社員）	・非正規雇用者の賃金が負担となり、求人が減ってきている（東京都）。
▲	人材派遣会社（営業担当）	・米国の関税問題に対する決着が曖昧な状態が続く場合、エンジニアのニーズも明確に減少すると見込まれる（東京都）。
▲	職業安定所（職員）	・製造業において、米国の関税政策に対する危機意識が強い。
▲	職業安定所（職員）	・米国の関税政策がこれからどのように影響が出てくるか、不透明感がある。
▲	職業安定所（職員）	・長期的に米国の関税政策が企業活動に影響を及ぼすとみている企業がある（東京都）。
×	求人情報製作会社（経営者）	・米国政権の動向による株価の乱高下や円安が改善されるのか、米価は安定するかなど、不安材料が多すぎる（東京都）。